

## 第9回加西市未来の学校構想検討委員会

日時：令和4年9月26日（月）

14時00分～14時29分

場所：加西市市民会館3F小ホール

### 1. 開会

### 2. 答申書の提出

#### ○会長

加西市長、西村和平様。加西未来の学校構想について（答申）。加西の教育のありたい姿を実現するためには、児童生徒の減少に起因する教育課題に対して、学校・家庭・地域がよきパートナーとして相互に連携・協働し、予測困難な未来社会に対応することのできる人づくり・学校づくりの実現が図られることを期待します。令和3年10月11日に加西市長から諮問を受けた加西市未来の学校構想について、精力的かつ慎重に審議し、別紙のとおり答申します。令和4年9月26日。加西市未来の学校構想検討委員会会長。

よろしくお願いいたします。

#### ○西村市長

ありがとうございました。確かに受け取りました。

#### ○事務局（教育総務課）

会長から答申書についての概要説明をお願いいたします。

#### ○会長

この委員会では、少子化の進行による小中学校の再編や地域との連携による学校づくりなど、将来を見据えて、加西市の望ましい教育環境の在り方と、その具体的な方策について、昨年10月11日から1年をかけて、話し合ってきました。昨年12月の第2回委員会では、未来の学校構想（素案）を提示し、4月には保護者、教職員、地域代表の方々を対象に、素案に対するアンケートを実施しました。6月20日には三重県松坂市立鎌田中学校の視察も実施しました。今日までの間、各委員から、活発なご意見、また、ご協力をいただき、答申書をまとめることができました。本当に皆様、ありがとうございました。先ほど、西村市長に提出しました答申書について簡単に概要を申し上げたいと思います。

この答申書は諮問事項に合わせて、4つの項目に分かれています。

まず、「1. 加西の教育のありたい姿」については、社会の急速な変化の中で、加西市においても「学力」、「不登校」、「特別支援教育」、「地域・家庭の教育力」など、複雑化・多様化した教育課題が生じています。予測困難な時代にあって、加西の子どもたちが、正解のない問題に挑戦する力を身につけることはますます重要となっており、そのためには、学校現場だけでなく、家庭、地域がよきパートナーとして相互に連携・協働していく必要があります。

本委員会では、地域に根差した学校の議論がありました。自分が育ったふるさと加西の自然

や風土を原風景として、他者との関わりの中で、豊かな発想を育み、自ら「問い」を立て、考え判断し、目的をもって行動できる力を育む。そして、自分の力で新しい価値と文化を創造し、未来に挑戦していける加西っ子の育成を目指すということです。

そして、次世代型の人材育成として、市独自に STEAM 教育を導入し、教科横断的な学習や探究的な学習等を充実させることで、一人一人の子どもたちの個性と多様性を尊重し、誰一人取り残さない、3C（挑戦・協働・創造）の資質・能力を身につけた次世代型人材の育成を目指すことを確認しました。

次に、「2. 小中学校の再編についての基本的な考え方」については、学校規模の適正化に向けた二つの方策を提唱しました。中学校の再編については、小規模化に伴う教科学習や部活動の指導等の課題を解消するために、令和8年を目標に、2校に統合します。2校のうちの1校は現状の北条中学校、もう1校は、善防中学校と加西中学校、泉中学校を統合する新たな中学校です。立地場所は、各地区からアクセスしやすい候補地を取得し整備していきたいと思えます。

一方、小学校の再編については、小規模校の課題はありますが、各校が長い歴史の中で培われた「地域に根差した学校」であり、「次世代型の人材育成」に対しても様々な手だてや工夫を講じることができること、また、小規模校が、児童一人一人に対するきめ細かな指導に適していることから、11校を存続させることとしました。その際、統合せずに各校を存続させる手立てとして、学園構想を提唱し、11校の小学校を現中学校区ごとに一つの学園とみなし、学校間の小規模校をさらに発展させていくことで、小規模校における課題の解消と緩和を図ることとしました。

なお、教育的観点から複式学級の発生を一つのガイドラインとして位置付け、複式学級が見込まれる2年前から（仮称）地域協議会を立ち上げることであります。

次に、「3. 地域との連携による学校づくり」については、保護者や地域住民の意見を反映していくためには、令和5年度から学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用していくことを確認しました。コミュニティ・スクールの導入には、新しい学校づくりの計画段階から、積極的に児童生徒や地域住民の意見を反映する必要性があり、地域との連携による学校づくりについて先進的に取り組む実績を持つ三重県松阪市立鎌田中学校を、教育委員とともに視察しました。学校と地域との連携活動においては、現状の学校の姿ではなく未来からの視点で学びの姿を見据え、従来の発想を変え、子どもたちのための豊かな環境をつくっていくことが大切だということを申し上げます。

そして、「4. その他必要と認められる事項」については、アンケートの結果からは統合中学校への通学に関する懸念が数多く寄せられておりました。その懸念を解消するための一つの方策として、送迎バスの運行について、統合中学校に通う生徒全員をバスの利用対象者とし、バス料金は無償化を検討することなどの試案を提示させていただきました。

以上、簡単ではございますが、答申の概要について説明させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局（教育総務課）

続きまして、副会長からコメントをいただきます。

#### ○副会長

私は委員の多くの皆さんが加西市に住まれ、あるいは加西市に深く関わっておられる中で、最も第三者的な立場から議論に参加させていただいたと思っています。

これからの学校、地域とはということを実際に構想しようとしてきた委員会の関係者の皆様に、いつも深い敬意を感じながら参加させてもらいました。その中で様々な立場や考え方があり、それを出し合い、対話していくことは非常に重要であるとともに、とても難しいことでもあったと思います。私も含めて委員の皆さんも、この議論の過程でそのように感じられてきたのではないかと思います。

いよいよこの後、答申に書かれたことを具体化し、実現していくというフェーズに入っていくと思います。その中では、立場や考え方の違いを越えて、子どもたちの学びやその環境をつくっていくことが、難しく感じる場面もあると思います。ただ、そのときこそ、私たち大人が互いにできること、できないことに向き合い、学び合い、そして補い合っていくことが必要になると思います。そういう意味では、ここまでの道のりもあったのですが、これがいよいよスタートラインだと感じています。

この後、加西市でいろんな過程を踏まれていくと思いますが、例えば、行政と住民とが要望を伝え、応じるだけの関係に留まるのではなく、多くの住民の皆さんの参画を得ながら、これからの子どもたちの学びとその環境が形づくられていくといいなと思います。

私も委員としての役割は、今日で一区切りだと思いますが、一人の大人としてこれからも加西市、そして今自分が住んでいる地域にも貢献していけるように、そういう自分でありたいと思っています。以上です。

#### ○事務局（教育総務課）

最後に、西村市長からご挨拶をいただきます。

#### ○西村市長

1年にわたるご議論いただいた成果として答申を頂きました。誠実に実現に向かって努力していきたいと思っています。今回の答申という言い方をさせていただきますが、今回の答申の11年半前にも頂いた学校のあり方検討委員会の答申、これも私が受け取っておりまして、そこから私としては現状の姿を維持しながら、何とか子どもたちがしっかり学べる学校の環境をつくれなにかという思いで、この間やってきたところです。

前回も長い年月をかけてね、答申に至っております。諮問した市長と答申を頂いた市長が違いますので、少し複雑と言いますか、それをめぐって選挙をしましたので、難しい答申の受け取り方になったと思いますが、私はその答申は尊重していきますということを申し上げました。その考え方もしっかり踏まえていただきながら、今回のご議論をいただいたと思っています。

私は11年半前の選挙では、小学校11校の存続を掲げて戦い、市民の皆さんの支持を頂きました。小学校を存続してほしいという思いは、今も何ら変わっていないと思っています。しかし、これは何回もいろんな場で言っていますが、選挙のそのときでさえ、小学校を新しく造ってほしいという若い保護者の皆さん、特にお母さんからは「統合してくれ」と直接に言わ

れました。これはもう明解に言われましたので、やはり、学びの環境ということに保護者の皆さんが大変強く思いを持っておられることを認識しながら、この 11 年半を過ごしてきました。

今回それぞれ本当に忌憚のない意見を、またそれぞれの委員さんが、積極的にご発言いただいたことは、私も少し雰囲気を感じておきたいということで、議事録も読むことができました。そういう中で 11 校存続ということで、最終的にまとめていただきました。

11 年半前とでは、小規模校でもできることがもう全然違ってきております。目の前の環境は、この間大きく変わりました。子どもたちは 1 人に 1 台のパソコンを持っております。

また、デジタル田園都市国家構想の交付金を頂いて、ラボもつくっていきます。そういう環境を大いに活用し、小規模校でもやれる環境はしっかり生かしながら、学校の教育を進めていかなければならないと思っておりますので、こういう結論をいただいたこと、いろんな状況の変化をしっかり認識していただいた上での結論だと思っております。

また、中学校ですが、激論が交わされたことは本当に文字を見ても、熱いところが伝わってきました。そして、しっかり対案が出され、その上で、教育委員会でまとめていただいた案が承認されて、一つの案として、私に届いたということは大きなことであると思っております。

東西案とか南北案とか、その地域の距離感とか、あるいは今現にあるものを一緒にするとかというのが通常の発想だと思いますが、ここは実現性のところで、実現する立場としては、これは全く手戻りしないと思っております。

例えば、どこかの中学校を 1 校だけなくすというのは大変難しい。簡単なようで一番難しい。実現する立場である市長としてはそんな思いを持っています。北条中学校は将来 10 年後もしっかり今の姿でやっていける中学校ですので、それを残してそれ以外の中学校を一つにする。

そして、将来のことも見越して、全市で 1 校になることも、そうならないように当然私としては努力していきますが、そういうことも想定しながら、場所も将来そこへ受け入れるという議論もいただいたところだと思っております。

また、通学のバスについても十分検討いただきました。原則無料であるということは大きなブレッシャーになりますが、しっかり、その予算の方は確保するよう今精いっぱいやっております。決して不可能なことではないと思っておりますので、皆さんのご意見もできるだけ尊重したいと思っております。

こういう諮問答申は市長に後を委ねる部分が、通常たくさんあるのですが、もう私が考える必要がないほどまとめていただきました。あとは実現するのみです。ただ、しっかり出来上がった案であっても、実現するのはそれなりの苦勞が要ると思っております。その第一歩が、これから始まるワークショップでございます。これは病院も、建て替えるという議論を 2 年間、専門家にやっていただきました。病院から独自に検討委員会を立ち上げていただいて、それはざくっとした方向性を出すという検討委員会でしたが、その議論も私は文字で確認しながら、懇談もしました。その際に大変責任ある対応をしていただける雰囲気を感じましたので、そのまま諮問委員会に変えて 2 年間かけて案を作りました。

病院を新しく造るという大変広い範囲の内容であり、専門的な部分もありますので、同じ委員さんに何回か、議論に参加いただき、我々がまとめた基本構想をしっかり認識いただいた上

で、議論するというところで、ワークショップをつくりました。今回も同じ発想でつくりましたが、この学校をどういう形にしていくかということについては、病院ほどの専門的な議論はないと思っております。そういう意味で皆さんの議論をしっかり踏まえて、できるだけ多くの皆さんに意見をいただき、そういう場をこのワークショップでつくっていきたいと思っております。そこが出発点になりますので、そこは大事にしておるところでございます。

この学校の再編につきましては、先ほど会長から、「子どもたちが正解のない問題に挑戦する力を身につける」という話がありました。この会議もまさしく、正解のない課題に挑戦していただいたと思っております。皆さんがまとめていただいた意見が、すなわち正解であります。その正解の答えを私としては、誠実に実現するために努力してまいりたいと思っておりますので、引き続きそれぞれの皆さんの立場でご協力をいただきたいと思います。また、副会長の発言にもありましたが、ここがスタートラインでございます。

今日出来上がったからもうこれで全て終わりということではありませんので、その都度、皆さんからのご意見を頂戴しながら執行者としての責任を果たしたいと思っております。

その中で特に小学校のところで、11校存続ということでもとめていただいたのですが、複式学級を目の前に見ておりますので、そういうことを想定した地域協議会を2年前に立ち上げることも提言いただきました。その時点、その時点での社会情勢、また我々の足元の状況を、しっかり見極めながら、常に議論、試行は続けていかなければならないと思っております。

正解と言いましたが、正解だから不動のものとは思っておりません。しっかり皆さんとその状況に対応すべく頑張ってまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

委員の皆さんには本当に長い期間、熱心にご議論いただきました。心から感謝申し上げます。また、12年以上前の議論に関わっていただいた方々に対しましても、心から感謝申し上げます。また、皆さんご参加いただいて、また傍聴の方もおられる中で、答申をいただけたことは、本当にありがたいことだと思っております。議論は今から始まっていきますが、方向性はしっかり定まりましたので、頑張ってまいりますので、よろしくお願いして、お礼の挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

### 3. 閉会

#### ○事務局（教育総務課）

これもちまして第9回加西市未来の学校構想検討委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。